

白水地区3小学校の統合時期等について

教育委員会では、少子化を迎え、公立小・中学校の在り方、基本的考え方について平成24年10月に南阿蘇村立小・中学校適正規模等審議会に諮問を行いました。同審議会においては、まずは3中学校の統合についての審議が重ねられ、平成25年10月に『第1次答申』を教育委員会に提出、承認後、村長に進達されました。その答申を基に村は議会の承認を経て、平成28年4月1日南阿蘇中学校を開校いたしました。

中学校統合後は、白水地区3小学校の再編について協議がなされ、平成30年3月7日、南阿蘇村立小・中学校適正規模等審議会から教育委員会へ『第2次答申』が提出されました。主な内容は、白水地区3小学校の再編に伴う内容を盛り込んだものであり、アンケート調査を3回実施し、その結果を踏まえ、再編を前向きに考え、協議・検討がなされてきたものをまとめられ、教育委員会に提出、承認後、3月16日に村長へ進達されました。

以下は、その後の動きです。

5月28日 白水3小学校PTA会長、校長、白水保育所保護者会長現状報告、説明

6月6日 白水地区区長会現状報告、説明

6月議会 「白水3小学校再編について」一般質問

6月22日 白水保育所保護者会説明

7月4日 全体区長会において白水地区3小学校の再編に係る現状報告、説明

7月6日～7日 3小学校(各小学校毎)の保護者説明会の実施

7月16日 各地区住民説明会の実施(両併、白水、中松校区それぞれ)

吉良村長は、6月議会における一般質問において、「再編することが望ましいと考えている。よりよい環境の中で学校生活を送ることができることを第1に考え、進めていかなければならない」と答弁されていましたが、9月議会において、現在の白水小学校の所在する場所に配置することと、2022年度までに再編することが望ましいとの答申に対して、「開校時期を2021年4月、場所は白水小学校か旧白水中学校を利活用する方向で進めていく」ことを表明されました。

今後は、熊本県教育委員会をはじめ関係機関と協議しながら、事業・事務が進められることとなります。

南阿蘇村立小中学校通学路 危険ブロック塀等対策事業 補助金交付要綱の 制定について

今年6月に発生した、大阪府北部を震源とする地震によりブロック塀が倒壊し、登校途中の児童が下敷きになり死亡するという痛ましい事故を受け、本村でも村立小中学校の通学路における危険ブロック塀の改修等に対する補助金の交付を決定いたしました。

ご自身が所有するブロック塀が危険であると自己判断され、かつその立地箇所が通学路であるかどうかを確認されたい場合は、村教育委員会学校教育係までご連絡ください。ご連絡後、通学路であると判明した場合、所有者の方とご相談させていただきます。

なお、村教育委員会においては、過日、各小中学校の協力を得て通学路における危険箇所を点検しておりますので、場合によっては、本委員会から危険と判断したブロック塀の所有者の方にご相談する場合がございますのでご了承願います。

【主な補助内容】※補助限度額

○撤去事業に対する費用の2/3

(ただし、1万円/1㎡または20万円のいずれか少ない額)

○設置事業に対する費用の1/2

(ただし、設置延長に1万円を乗じた額または15万円のいずれか少ない額)